

僕は性別欄の男女どちらにも丸をしなかつた なのに勝手に女に丸をされた

LGBTの困りごと

20代 都島区 トランスジェンダー

【トランスジェンダー】出生届の性別とは異なる性別のあり方を望む人



人の性別を勝手に決めないでほしい

トランスジェンダーにもいろいろな人がいます。自分のことを、女性である / 男性である、と比較的明確に思える人もいますが、男性でも女性でもないと思う人も、男性でも女性でもある、「中性」である、という人もいます。自認する性別に揺らぎがある、あえて決めたくない、という人もいます。性別を記載するのを苦痛に思うトランスジェンダーへの配慮のため、2000年代の初め頃から、自治体や企業で、書類の中の不要な性別記載欄を削除する動きがあります。公文書や履歴書の性別欄など、多くの書類の性別記載欄が削除されています。トランスジェンダーが戸籍の性別を変更したり、氏名を変更したりするには、現在の日本では多くの要件を満たす必要があります。希望する人みんなが出来るわけではありません。よって、戸籍の性別や氏名は、当事者にとっては、周囲の人に知られたくない、知られてしまったら社会生活が危険にさらされるくらいの「重大な個人情報」なのです。

このパネルは、平成28年度 淀川区LGBT支援事業の一環として、大阪市内のLGBT当事者の声を集めて制作したものです。LGBTは、以下の4つの単語の頭文字であり、ここでは性的指向や性自認におけるマイノリティ(少数者)の総称としています。

L レズビアン 同性を好きになる女性 **G** ゲイ 同性を好きになる男性 **B** バイセクシュアル 性別にかかわらず、同性を好きになることもあれば異性を好きになることもある人 **T** トランスジェンダー 出生届の性別とは異なる性別のあり方を望む人

LGBTは人口の5~8%程度と言われていますが、学校、職場、地域など、自分の周囲にカミングアウトできない人も多く、見えにくいマイノリティです。このパネルは、そうした人たちの声を可視化する目的で制作しました。笑顔の裏にも見えにくい「困りごと」を抱えている人たちが自分の身の周りにもいるかもしれないと、想像しながら見てほしいと思います。

制作:大阪府淀川区役所 編集:虹色ダイバーシティ・QWRC共同体 制作日:2016年9月

淀川区LGBT支援事業
特設ホームページ



<http://niji-yodogawa.jimdo.com/>